



INDEX 05

高校でもICT教育

三重県教育委員会は、令和4年4月から県立高等学校でも1人1台の学習端末を導入すると発表しています。そのため、令和4年度以降の高校入学生から保護者の負担で学習端末を購入する必要があります。高校でも小中学校と同様に、オンラインで配信される教材や動画による学習等が行われる予定です。

MEMO ロデジタルとアナログ

デジタル教材

- タブレット端末
- プログラミング教材
- デジタル教科書

アナログ教材

- ノート、鉛筆
- 黒板、チョーク
- 紙の教科書

こ れから教科書なども完全に電子書籍化されていく可能性が

アナログとデジタルの併用

答えはそうではありません。黒板への板書やノートに鉛筆で書き写す作業は「アナログ」な教育手法であるかもしれませんが、アナログな手法でしか学べないこともありません。今後は、タブレット端末が学習のための新しいツールとなり、教育の幅を広げる選択肢のひとつとなります。「アナログ」と「デジタル」の手法を使い分け、子どもたちにとってよりよい学習の場を与えていくことが、

▲大型モニターと模造紙、両方を併用して発表を行う様子。

あり、タブレット端末でほとんどの教材を網羅することができるようになる未来がやってくるかもしれません。そうなれば、学校からノートや鉛筆、黒板がなくなってしまう日がきてしまうのでしょうか。

これからの勉強が楽しくなりそう！

学校教育課
TEL 391-1155
FAX 391-1195

問い合わせ

今後のICT教育の目指す方向であると言えます。

まだまだICT教育は始まったばかりですが、タブレット端末の導入で大きく子どもたちの学習の様子は変わりました。今後はさらにさまざまななかたちでタブレット端末が使用され、新たな活用方法や授業展開が進められていくことになるでしょう。子どもたちには小中学校でのICT教育で得た経験を糧にして、これからの未来を創ってほしいと思います。

▲授業中はタブレット端末とノートを併用する場面も多いです。

考えを伝え合う Share your thoughts with your friends

学習内容や画像を学級全体で共有することができます。意見を発表するなど、お互いの考えを伝え合うような場面で役立ちます。

▲大型モニターとそれぞれのタブレットを繋ぎ、全員の意見を可視化できます。

デジタルドリルを解く Solve the digital drill

デジタルドリルなどで課題を行い、インターネットを介して添削作業を行うこともできます。間違えた問題の復習も重点的に行えます。

▲インターネット環境がないご家庭にはダウンロード版をご用意しています。

オンライン会議の活用 Utilize online meetings

インストールされているオンライン会議システムを利用して教職員と児童生徒が自宅や学校で画面を通して連絡を取り合うことができます。

▲自宅からでもオンライン会議システムで教職員に連絡ができます。

学習の幅が大きく広がる

ICT教育

でできること

ICT教育が進み、児童生徒が1人1台タブレット端末を持つことで授業展開や学習の様子が変わります。ここでは、タブレット端末を使って新たにできるようになったことをご紹介します。

動画で確認する Checking with video

体育の授業で動画を撮影してフォームチェックを行ったり、理科の実験などを動画で再確認することなどができます。

▲児童同士で動画を撮り合い、フォームで気になる箇所を確認します。

QRコードを読み取る Read the QR code

教科書に記載されたQRコードを読み取ることで関連するインターネット上の情報を閲覧したり、動画で確認したりすることができます。

▲各教科の教科書にはQRコードが記載されているものが増えてきました。

インターネットで調べる Researching on the Internet

自分で気になることがあったらインターネットの検索サイトを用いて調べること、効率的な調べ学習を行うことができます。

▲授業中にわからない単語があったら、検索サイトで検索します。

写真を撮って共有する Take a photo and share

搭載されているカメラでどこでも気軽に写真を撮影することができます。屋外学習で被写体を撮影して記録として残せます。

▲撮影した画像を取り込んで、グループ別に共有することも可能です。

勉強にも便利なタブレット

いろいろな学習に使えるよ！

特集 New Stationery
1人1台タブレットで変わる教育